

再 評 価 書

事業名	一般国道368号上長瀬	事業区分	道路事業	課名	道路建設課 (伊賀建設事務所)										
事業概要	工期	H19年度～H33年度	全体事業費	1,934百万円(負担率:国5.5:県4.5)											
	(下段:当初)	H19年度～H33年度	(下段:当初)	1,934百万円(負担率:国5.5:県4.5)											
事業目的及び内容															
<p>■当該路線の状況</p> <p>事業対象路線の一般国道368号は、伊賀市の国道25号を起点として、一部奈良県内を通過し、多気郡多気町の国道42号に至る伊賀地域と中勢地域を結ぶ重要な幹線道路であり、大規模な災害の発生時等に、地域の孤立を防ぎ、円滑な救助・救援活動および生活の復興支援の基盤となる「緊急輸送道路」に指定されています。</p> <p>また、名張市南東部や津市南部地域、奈良県御杖村等と名張・伊賀市街地を結ぶ唯一の幹線道路であり、鉄道空白地における住民の通勤、通学、通院、買い物等の日常生活の移動や緊急時の救急搬送等を担う重要な路線です。</p> <p>当事業区間の現道は、幅員が狭小で線形が悪いことから、車両のすれ違いが困難であり、視距の悪い道路となっています。</p> <p>■事業目的</p> <p>当事業区間のすれ違い困難箇所を解消するとともに道路の視距を改善することで、安全で円滑な交通を確保し、幹線道路としての機能向上を図るとともに、緊急輸送道路ネットワークを強化します。</p> <p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画期間 15年間(平成19年度～平成33年度) ・全体事業費 1,934百万円(工事費:1,714百万円、用地費:220百万円) ・計画延長 L=2,000m(起点)名張市長瀬～(終点)名張市上長瀬 ・幅員 W=6.0(9.75)m ・主要構造物 橋梁3橋 															
事業主体の再評価結果															
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>平成19年度に事業着手後、一定期間(10年)を経過し、事業継続中であるため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条(2)に基づき再評価を行いました。</p>															
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>2-1 事業の進捗状況</p> <p>①平成27年度末の事業進捗率は、50%(工事45%、用地88%)となっています。</p> <p>②用地については、2車線拡幅分の用地およびバイパス区間の用地は大部分が確保されています。</p> <p>③平成27年度までに約760mが供用済みでしたが、平成28年9月に約380mが供用開始し、合計約1,140mが供用済みとなります。</p> <p>2-2 今後の見込み</p> <p>平成34年度の全線供用に向け事業を推進します。</p>															
<p>3 事業を巡る社会経済状況等の変化</p> <p>国道368号は平成8年から第2次緊急輸送道路に指定されており、当事業の必要性に変化はありません。平成24年度には伊賀市において全国からの応援部隊・救援物資等の受入窓口としての役割を担う三重県広域防災拠点(伊賀拠点)が整備されたことから、国道368号は伊賀拠点から県内の各拠点への物資輸送等を担う道路として重要度は高まっています。</p>															
<p>4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等</p> <p>4-1 費用対効果分析</p> <p>○事業区間全体の費用対効果分析の結果は、</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">走行時間短縮便益</td> <td style="text-align: right;">26.1億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td style="text-align: right;">1.1億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td style="text-align: right;">0億円</td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td style="text-align: right;">27.2億円</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: right;">19.5億円</td> </tr> </table> <p>費用便益比は、「1.4」となります。</p>						走行時間短縮便益	26.1億円	走行経費減少便益	1.1億円	交通事故減少便益	0億円	総便益	27.2億円	総費用	19.5億円
走行時間短縮便益	26.1億円														
走行経費減少便益	1.1億円														
交通事故減少便益	0億円														
総便益	27.2億円														
総費用	19.5億円														

4-2 その他の効果

○救急搬送の支援

長瀬地区への救急搬送には国道368号が主に利用されていますが、当事業区間には緊急車両の通行に支障をきたす幅員狭小区間や線形不良区間が存在します。

当事業により、これらが解消し、救急搬送時間が短縮するとともに、走行性が安定することによる患者への負担が軽減されるなど救急搬送を支援します。

○公共交通（バス）運行の支援

当事業箇所付近の公共交通機関としては、鉄道は通っておらず、バスが地域の重要な移動手段となっています。現在、奥津駅前から名張駅前を結ぶ三交バス奥津線が国道368号を經由して運行しています。

運行経路に道幅が狭い区間があり、対向車とのすれ違いが困難で、定時性が確保しづらい点が課題となっていますが、当事業の部分供用区間を含めた道路整備により、定刻からの大幅な遅れは解消される等、道路整備の効果が発現しつつあります。

より一層の定時性確保に向け、当事業を進めることによりバス運行を支援します。

○通勤、通学の支援

名張市へ通勤・通学している方の出発地は津市が最も多く、県外の奈良県御杖村、曾爾村からもみられます。津市美杉町や奈良県御杖村の方々は、国道368号を主に利用されています。

当事業により、通勤・通学時間を短縮し、交通の安全性を向上することで、通勤・通学を支援します。

○観光誘客の支援

津市美杉町三多気において毎年開催される「三多気桜まつり」の観光入込客数は例年2万人を記録し、会場へのアクセス手段としては自家用車や三交バス奥津線の利用が多く、国道368号が主に利用されています。

当事業により、名張市方面からの車両移動の利便性・安全性を向上させ、三多気桜まつりなどへの観光誘客を支援します。

当事業箇所付近の名張川には、アユ釣客が年間約6,900人訪れており、アユ釣りシーズンには多くの釣客で賑わいます。

アユ釣客は主に自家用車で国道368号を利用して釣場を訪れており、当事業により、来訪しやすくすることで、観光誘客を支援します。

○地域経済の支援

名張市において、廃校となった市立長瀬小学校の校舎を有効活用し、民間のコールセンターの進出を誘致することができました。オペレーターとして約140人の雇用を創出し、敷地内に設置した地産野菜等の直売所が活況を呈しているなど、地域経済の活性化に大いに寄与しています。

旧小学校が面する国道368号では、拡幅整備が進んでおり、通勤で利用しやすい点が、企業が進出を決めた一因となっています。

当事業を進めることで更なる地域活性化を支援します。

4-3 地元意向

当該路線が通過する、三重県伊賀市・名張市・津市・松阪市・多気町・奈良県御杖村の6市町村により「国道368号改修期成同盟会」が設立されており、本年度も8月5日に総会が開催されました。同盟会からは地域間の物流及び交流促進のため、事業の早期完成を強く要望されています。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

2号橋から3号橋の区間で、盛土材として他工事で発生した土を使用することで、工事費用として855万円のコスト縮減を図っています。

5-2 代替案

当事業は、全事業区間において用地はおおよそ確保済みとなっており、現在までの用地取得の状況と工事進捗状況から代替ルートはないと考えており、代替案はありません。

再評価の経緯

当事業は、平成19年度に事業着手しており、今回初めて再評価を行います。

事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。